

令和
4年度

酒々井の町づくり

決 算

令和4年度に実施しました主な事業を
7つの基本目標ごとにまとめました。

人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井

=目次=

目標1 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）

1～15ページ

目標2 人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり（教育・文化）

16～29ページ

目標3 豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり（生活安全）

30～31ページ

目標4 自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり（環境共生）

32～33ページ

目標5 便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり（都市基盤）

34～36ページ

目標6 活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり（産業・経済）

37～40ページ

目標7 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

41～46ページ

各特別会計、水道・下水道事業

47～51ページ

資料の見方

- 目標1 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）
この目標は総合計画における将来都市像を実現するための7つの基本目標の一つです

新規

- これは、その年度の新たな事業です

酒々押独自

- これは、町が独自で行っている事業です

◆〇〇〇事業◇ 12,345千円（△△課）

（財源：国県支出金6,789千円 一般財源5,556千円）

- 「〇〇〇事業」に係る予算額及び担当課を記載しています
- 一般財源とは、「〇〇〇事業」に係る財源内訳のうち、皆様から納められる税金や地方交付税等です。

目標1 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）

子育て支援等の施策

一部酒々井町独自

◆子ども医療費助成事業◆

53,191千円（こども課）

（財源：国県支出金12,854千円 一般財源40,337千円）
 保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため中学生までの医療費の自己負担分を助成しました。

◆児童手当支給事業◆

227,200千円（こども課）

（財源：国県支出金190,617千円 一般財源36,583千円）
 中学校3年生までを対象に、児童手当を支給します。

受給できる方：子どもを養育する父母等

児童手当の額：

3歳未満 月額 1万5千円

3歳から小学校6年生まで

第1子・第2子 月額 1万円

第3子以降 月額 1万5千円

中学生 月額 1万円

所得制限以上の場合の児童手当の額： 一律 月額 5千円

所得上限限度額以上の場合：支給なし



◆中央保育園運営事業◆

46,226千円（こども課）

◆岩橋保育園運営事業◆

118,387千円（こども課）

◆保育委託事業◆

223,729千円（こども課）

（財源：国県支出金161,250千円 一般財源216,877千円 その他10,215千円）
 保育園では、就労等により昼間、保護者が家庭にいない児童を対象に保育を行いました。
 また、こども園等では、3歳未満児には保育を、3歳以上児には教育・保育を行いました。

入園児童数（令和5年3月1日現在）

*町立中央保育園 49人（うち管外 1人）

*町立岩橋保育園 130人（うち管外 2人）

*私立昭苑こども園 132人（うち管外 3人）

*管外委託保育 13人



幼児教育・保育無償化制度の開始に伴い、3～5歳児の保育料を無料にしました。

*幼稚園	6園	延761人
*認可外保育所	3園	延34人
*預かり保育料	幼稚園 4園	9人
	認定こども園 4園	19人

◆子ども・子育て支援事業◇

27,902千円（こども課）

（財源：国県支出金14,087千円 一般財源13,742千円 その他73千円）

「子育て支援センター あいあい」では、様々な子ども・子育て支援事業を実施し、子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行いました。

*地域子育て支援拠点事業（保育士等による子育て中の親子の交流促進や育児相談等）

あいあい（週6日）利用者数延べ2,933人

しょうえんこどもこそだてルーム（週5日・委託）利用者数 916人

*ファミリー・サポート・センター事業（子育ての相互援助活動の連絡調整）

登録者数 95人 活動件数 103件

*利用者支援事業（身近な場所での教育・保育に関する相談等）

相談件数 409件



酒々井町独自

◆高等学校等奨学給付金事業◇

400千円（こども課）

（財源：全額一般財源）

低所得世帯等が扶養するこどもの高校進学に対し、必要な経費（入学金及び学用品の購入など）を10万円を限度に支給しました。

支給件数 4件

コロナ対策

◆低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（ひとり親世帯以外）◇

8,321千円（こども課）

（財源：国県支出金8,321千円）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得の子育て世帯を支援するため、一時金を支給しました。

対象児童1人につき5万円

コロナ対策

新規

酒々井町独自

◆子育て世帯臨時特別支援事業◇

17,562千円（こども課）

（財源：国県支出金17,562千円）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、一時金を支給しました。
対象児童1人につき10万円

◆放課後子ども教室事業◇

1,376千円(こども課)

(財源：国県支出金478千円 一般財源898千円)

様々な体験等を通して児童の健全育成を図るため、小学校の体育館などを活用し、地域の方々の協力を得て、放課後子ども教室を開催しました。

酒々井小学校・大室台小学校…週1回開催

	開催日	開催日数	登録児童数	参加児童数(1日平均)
酒々井小学校	毎週火曜日	30日	257人	42人
大室台小学校	毎週月曜日	18日	212人	36人

◆放課後児童クラブ事業◇

57,361千円(こども課)

(財源：国県支出金31,559千円 一般財源25,796千円 その他6千円)

昼間、就労等により保護者がいない小学生を対象に、町内3か所において、放課後の安全な居場所を提供するとともに、遊びや学習等の支援を行い、児童の健全な育成を図りました。

名称	委託料・補助金	開設日数	登録児童数 (R5.3.31現在)
酒々井小学校児童クラブ	17,761千円	281日	105人
大室台小学校児童クラブ	14,978千円	251日	65人
昭苑こども園	10,154千円	278日	58人

◆ひとり親福祉推進事業◇

6,592千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金2,982千円 一般財源3,610千円)

*ひとり親家庭等医療費助成 5,817千円

ひとり親家庭の父母等及びその児童(年度末で18歳以下(心身の基準以上の障害がある場合は20歳未満まで))の医療費等の自己負担分の一部を助成しました。

*支給者 186人・延べ 2,867件(入院・通院・調剤)

*町母子寡婦福祉会補助金 45千円

母子寡婦福祉会の活動を支援するため助成しました。



障害福祉施策

◆障害者福祉事業◇

43,584千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金14,185千円 一般財源28,916千円 その他483千円）

*重度心身障害者医療費給付事業 24,550千円

重度の身体・知的・精神障害者の医療費等の自己負担分を助成しました。

*支給者 209人・延べ 5,850件（入院・通院・調剤）



酒々井町独自

*福祉タクシー事業 529千円

重度の身体障害者、知的障害者がタクシーを利用した場合、料金の2分の1（1,000円を上限）を助成しました。

*利用者 61人・延べ 689件

*ねたきり身体障害者・重度知的障害者福祉手当支給事業 519千円

在宅の20歳以上のねたきりの身体障害者や重度の知的障害者又はその介護者の経済的負担の軽減を図るため、月額8,650円を支給しました。

*支給者 5人・延べ 60件（知的障害者）

*指定難病見舞金支給事業費 4,302千円

指定難病の療養者に月額3,000円の見舞金を支給しました。

*支給者 131人（令和5年3月末現在）

酒々井町独自

*紙おむつ等購入助成事業 1,227千円

在宅で身体障害者・療育手帳をお持ちの方に、紙おむつ等購入助成券（1枚1,000円、月3枚）を交付しました。

*利用者 51人

*障害者グループホーム等入居者家賃助成・運営費補助事業 2,945千円

障害者の地域生活移行を促進し、障害者の福祉の増進に寄与するため、障害者グループホーム運営者に運営費補助金を入居者へ家賃助成を支給しました。

*支給施設 8施設

*支給者 14人

*福祉団体助成事業 400千円

福祉活動を行う団体に対して、活動を支援するため助成しました。

*町手をつなぐ親の会 400千円

◆障害者総合支援事業◇

379,774千円（健康福祉課）

(財源：国県支出金276,001千円 一般財源101,642千円 その他2,131千円)

*自立支援給付 281,536千円

障害者に介護給付費・訓練等給付費、自立支援医療費、補装具費等を給付しました。

*介護給付費・訓練等給付費 251,993千円 延べ 1,617人

*自立支援医療費 26,356千円

利用者 育成医療 入院1人

更生医療 通院37人、入院12人

療養介護医療 3人

*補装具費 3,134千円 利用者 11人

*地域生活支援事業 19,884千円

障害者の地域での生活を支援しました。

*相談支援事業 8,802千円 利用者 69人

*意思疎通支援事業 925千円 利用者 6人

*日常生活用具給付事業 3,612千円 利用者 32人

*手話奉仕員養成研修事業 263千円 利用者 9人

*移動支援事業 787千円 利用者 9人

*地域活動支援センター事業 403千円 利用者 2人

*訪問入浴サービス事業 1,938千円 利用者 3人

*日中一時支援事業 2,152千円 利用者 20人

*障害児給付 63,921千円

児童発達支援、放課後等デイサービス等を行いました。

*児童発達支援 利用者延べ 181人

*放課後等デイサービス 利用者延べ 750人



高齢者福祉施策

◆老人福祉事業◇

22,269千円（健康福祉課）

（財源：一般財源20,582千円 その他1,687千円）

*生きがいデイサービス事業 4,061千円

介護保険の認定を受けていない高齢者の介護予防を目的に、隣保館、中央公民館を会場に事業を実施していますが、新型コロナウイルス感染症防止のため参加者の健康維持のため情報提供・相談業務を主に実施しました。

*実施 144回・延べ参加者 1,804人

*緊急通報装置貸与事業 3,052千円

65歳以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの重度身体障害者、高齢者世帯で世帯に属する者のいずれかが介護認定者又は重度身体障害者である方に緊急通報装置を貸与しました。

*貸与者 73人

*はり・きゅう・マッサージ等施術利用料助成事業 4,631千円

65歳以上の方に、はり・きゅう・マッサージの利用券（1枚1,000円・月2枚）を交付しました。

*利用件数 延べ 4,631件

*福祉タクシー事業 960千円

介護保険の要支援2又は要介護認定者がタクシーを利用した場合、料金の2分の1（1,000円を上限）を助成しました。

*利用者 110人 延べ 1,246件

*紙おむつ等購入助成事業 1,561千円

在宅で、市町村民税非課税世帯に属する要介護1・2の方又は要介護3以上の方*に対し、紙おむつ等購入助成券（1枚1,000円、月3枚）を交付しました。（※所得制限あり）

*利用者 74人（令和5年3月末現在）

*高齢者外出支援タクシー事業 5,088千円

75歳以上で運転免許証を有していない方又は病気などにより自動車などを運転することができない方に対し、タクシー利用助成券（1枚500円）を年度分として最大48枚を交付しました。

*利用者 433人

*高齢者運転免許証自主返納支援事業 63千円

運転免許証を自主返納された方で、自主返納時の年齢が70歳以上75歳未満の方に対し、外出を支援するため、タクシー利用助成券を交付しました。（交付は、1人1回限り）

*利用者 20人

***結婚50周年夫婦記念品支給事業 330千円**

婚姻後50周年を迎えた夫婦に対し、記念品を贈りました。

*利用者 30組

***老人福祉大会開催事業 673千円**

「新型コロナウイルスの影響により老人福祉大会は中止」

88歳の方へ顕彰状および記念品を町・酒々井町社会福祉協議会から贈呈しました。

*88歳長寿者 101人

***80歳の青年式事業 0千円 「新型コロナウイルスの影響により中止」**

***町水仙クラブ連合会補助金 984千円**

水仙クラブ連合会の活動を支援するため助成しました。

*18団体 276人



酒々井町独自

◆交流拠点施設げんき館運営事業◇

2,915千円(健康福祉課)

(財源：全額その他)

高齢者など多世代が交流できる拠点施設を指定管理者により運営しました。

◆生きがい創造支援事業◇

1,480千円(住民協働課)

(財源：全額一般財源)

高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かすための就業を援助し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実にに向けた支援を行いました。



◆後期高齢者医療事業◇

300,750千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金34,121千円 一般財源260,472千円 その他6,157千円)

※療養給付費負担金 228,363千円(市町村定率負担分1/12に相当する額)

※保健事業

健康増進並びに医療費の適正化を図るため、千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託により、後期高齢者を対象とした健康診査を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の7割を助成しました。

*高齢者の健康診査 4,201千円 588人受診

*人間ドック費用の助成 9,139千円 224人利用

国民年金事業

◆国民年金一般事務費◇

4,057千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金4,057千円）

国民年金の資格取得届、免除申請、裁定請求等の受付と日本年金機構への報告及び送付を行いました。また、国民年金に関する相談と社会保険労務士による年金全般に関する相談を年6回実施しました。これらの年金相談や届出時の説明により、年金制度の意義・役割の周知と保険料納付の促進を図りました。

*資格取得届等	541件	*免除申請送付	678件
*裁定請求	56件	*相談数	853件



臨時特別給付金

コロナ対策

◆臨時特別給付金支給事業◇

60,058千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金29,666千円 一般財源30,392千円）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、様々な困難に直面する方々に対し速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、令和4年度住民税均等割非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和4年1月以降に家計が急変し、世帯全員が令和4年度住民税均等割が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給しました。

*支給世帯 256世帯

コロナ対策

◆電力・ガス・食料等価格高騰緊急支援給付金支給事業◇ 81,559千円（健康福祉課）

（財源：全額国県支出金）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し生活・暮らしの支援を行う観点から、令和4年度住民税均等割非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和4年1月以降に家計が急変し、世帯全員が令和4年度住民税均等割が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯に対し、1世帯あたり5万円を支給しました。

*支給世帯 1,538世帯

コロナ対策

◆ほっと一息クーポン支給事業◇

22,979千円（健康福祉課）

（財源：全額国県支出金）

コロナ禍における原油価格・物価高騰対応により、町民生活に及ぼす影響の長期化が懸念される中、令和4年度に75歳以上となる高齢者に向けた生活支援を行うため、1人につき5,000円分のQ.U.Oカードを支給しました。 *支給人数 3,608人

社会福祉施策

◆社会福祉一般事務費◇ 68,920千円（健康福祉課）

酒々井町独自（財源：国県支出99千円 一般財源68,697千円 その他124千円）

*しすいふれ愛タクシー運行事業 25,880千円

巡回・デマンド複合型新総合交通システム（しすいふれ愛タクシー）の円滑な運営を図るため、社会福祉協議会に事業を委託し、高齢者などの日常生活の利便性の向上を図りました。

*車両 3台（10人乗り2台・13人乗り1台）

*運行日数・利用者 243日・延べ 11,038人

*福祉団体等助成事業 34,207千円

福祉活動を行う団体に対して、活動を支援するため助成しました。

*町社会福祉協議会 33,707千円

*蛸雪学園 500千円



◆民生委員児童委員活動事業◇ 1,217千円（健康福祉課）

（財源：国県支出219千円 一般財源998千円）

*町民生委員児童委員協議会補助金 200千円

民生委員児童委員の活動を支援するため助成しました。

健康づくり施策

◆保健センター一般事務費◇

13,411千円（健康福祉課）

（財源：一般財源13,411千円）

*夜間医療体制等の確保 4,856千円

夜間、日曜日・祝日及び年末年始の医療、小児初期急病診療サービスを確保しました。

【印旛市郡小児初期急病診療所】（0～15歳）

診療日（毎日365日）	診療時間
月～土曜日	19時～翌日6時
日曜日・祝日・年末年始	9時～17時、19時～翌日6時

場 所：佐倉市江原台2-27（佐倉市健康管理センター内）

電 話：043-485-3355



【成田市急病診療所】

診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	月～土曜日	19時～23時
	日曜日・祝日・振替休日	10時～17時
	8月13日～15日・12月29日～1月3日	19時～23時
外科	日曜日・祝日・振替休日	10時～17時
	8月13日～15日・12月29日～1月3日	19時～23時
	祝日（日曜を除く）・振替休日	10時～17時
歯科	8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時

場 所：成田市赤坂1-3-1（成田市保健福祉館敷地内）

電 話：0476-27-1116



コロナ対策

◆新型コロナウイルス感染症対策支援事業（保健センター）◇

15,047千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金12,026千円 一般財源3,021千円）

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ次の事業等を実施しました。

*新型コロナウイルスPCR検査 2,076千円

新型コロナウイルス感染の不安を解消するために住民登録されている方を対象に1人1回無料で検査を実施しました。

*検査機関へ郵送するPCR検査 実績数 189件

*町内医療機関で実施するPCR検査 対象者 65歳以上 実施数 34件

実施医療機関 千葉しすい病院、酒々井虎の門クリニック、しすいホームクリニック

*特別出産給付金支給事業 8,807千円

コロナ禍で不安を抱えながら妊娠期を過ごし出産した母に給付金を支給しました。

*乳児1人につき10万円 支給人数 88人

*新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業 1,312千円

新型コロナウイルス感染症に感染し、自宅療養が必要となり外出できない方へ衛生用品等の提供やパルスオキシメーター（動脈血中酸素飽和濃度測定器）の貸し出しを行いました。

*衛生用品 241件（843人）

*パルスオキシメーター貸し出し 68件

*抗原定性検査キットの配布 232千円

新型コロナウイルス感染者の急増による医療逼迫状態を少しでも減らして重症化リスクの高い方がスムーズに受診できるよう抗原定性検査キットを配布しました。

*配布人数 118人



◆予防接種事業◇

49,016千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金 762千円 一般財源48,254千円）

次の予防接種を行い、個人の健康管理を行うとともに感染症の流行防止に努めました。

	対 象	内 容	費 用	対象者数 (人)	接種者数 (人)
定期 接 種	乳幼児	百日せきジフテリア破傷風ポリオ混合	無 料	368	351
		麻しん風しん混合（1期・2期）		221	207
		BCG		92	96
		日本脳炎（1期・2期）		406	472
		ヒブ		368	359
		小児用肺炎球菌		368	351
		水痘		83	169
		B型肝炎		276	263
		ロタウイルス		194	180
	9歳～19歳	日本脳炎（特例措置）	—	—	45
	小学6年生	ジフテリア破傷風混合	—	163	99
	小学6年生～高校1 年生女子（女子）・ 未接種者	子宮頸がん （ヒトパピローマウイルス）	—	1,529	240
	任意 接 種	65歳以上希望者	インフルエンザ	助成額 4,000円	6,712
65歳以上で5歳刻 み年齢の未接種者		高齢者肺炎球菌	助成額 4,600円	880	185
昭和37年4月2日 ～昭和54年4月1 日生まれの男性		抗体検査	無料	1,800	62
		麻しん風しん混合	無料	—	15
2歳～17歳の未 接種者		麻しん風しん混合	無料	—	0
18歳以上の妊娠 を希望する女性と その配偶者	麻しん風しん混合	助成額 麻しん風しん 5,000円 風しんのみ 3,000円	—	—	9

コロナ対策

◆感染症予防対策事業◇

133,122千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金122,722千円 一般財源10,400千円）

新型コロナウイルス感染症の予防および重症化予防のため新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました。また、実施に向けてシステム改修、コールセンターの設置、接種券作成等を行いました。

◆結核健康診断事業◇

1,427千円（健康福祉課）

◆健康増進事業◇

24,405千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金2,479千円 一般財源21,032千円 その他2,321千円）

保健センターを主な会場に、健康教育、健康相談、健康手帳の配布、各種検診を行いました。

項 目		対象等	実施回数・参加者数
健康教育	糖尿病予防教室※	20歳以上	1回・22人
	ヘルスアップセミナー※	20歳以上	6回・44人
	いきいきしすいっ子教室	酒々井小・大室台小 5年生	各校1回 129人
健康相談	—	来所者 延べ94人 電話 延べ30人	
健康手帳の配布	20歳以上の希望者	360人	
健幸ポイント事業	酒々井町独自	20歳以上の町民	5人

項 目	対 象	自己負担	対象者数 (人)	受診者数 (人)
乳がん検診	30歳代・40歳代偶数歳	保健センター1,000円 医療機関2,000円	7,753	142
	50歳以上・40歳代奇数歳	保健センター1,000円 医療機関2,000円		1,101
子宮頸がん検診	20歳以上	医療機関2,000円 保健センター1,000円	5,770	537
胃がん検診	40歳以上	1,000円	13,301	836
大腸がん検診	40歳以上	医療機関700円 保健センター300円	13,301	1,917

結核・肺がん検診	40歳以上	300円	13,301	1,419
肝炎ウイルス検診	40歳以上	無料	2,412	327
骨粗しょう症予防検診	30・35・40・45・ 50・55・60・65・ 70歳（女性）	500円	1,156	233
成人歯科検診	40歳以上	無料	12,916	98

※乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診には、無料クーポン券によるがん検診受診者を含む。

再掲 無料クーポン券によるがん検診

項目	対象	対象者数 (人)	受診者数 (人)
子宮頸がん検診	20・25・30・35・40歳	509	70
乳がん検診（マンモグラフィ）	40・45・50・55・60歳	589	166
大腸がん検診	40・45・50・55・60歳	1,248	165

◆母子保健推進事業◇

13,949千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金238千円 一般財源13,710千円 その他1千円）

次の母子保健事業を行いました。新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止または延期した事業（※）があります。

事業名	対象	実施期間	対象者数（人）	受診者・参加者数（人）
母子健康手帳交付	妊婦	通年	92	（面接者数）90
妊婦・乳児支援タクシー 酒々井町独自	妊婦・産婦	通年	60	利用者 40
妊婦・乳児 一般健康診査	妊婦（14回） 乳児（2回）	通年	98 109	延べ 1,077 延べ 109
ママ・パパ歯科検診	妊婦 配偶者	通年	妊婦 92 配偶者 —	妊婦 26 配偶者 15
マタニティ ・ママパパクラス	妊婦・家族	1コース4回 年3コース	—	延べ 65
新生児・産婦訪問指導	新生児・産婦	通年	88	83
こんにちは 赤ちゃん事業（※）	4か月児	通年	中止	中止

事業名	対象	実施期間	対象者数(人)	受診者・参加者数(人)
乳児相談(※)	4か月児	年12回	79	63
	10か月児		91	70
出生祝品の配布(※) (ブックスタート)	4か月児	年12回	79	85
酒々井町独自				
幼児健康診査(※)	1歳6か月児	年6回	80	74
	3歳児	年6回	108	92
2歳児歯科健康診査(※)	2歳児	年5回	131	90
なかよしはみがき教室	保育園児 幼稚園児	年7回	112	100
幼児健診事後指導教室(※) (遊びの教室どんぐり)	幼児・保護者	年12回	—	延べ 68組
心理発達相談 (親子相談)	幼児・保護者	年10回	—	延べ 13組
ことばの教室プラム	3歳6か月 ～未就学児	年25回	—	延べ 62

目標2 人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり（教育・文化）

幼稚園と小・中学校の施策

酒々井町独自

◆私立幼稚園補助事業◇

256千円（こども課）

（財源：全額一般財源）

*私立幼稚園運営費・教材費補助事業

256千円

町内の私立幼稚園（子ども・子育て支援法の確認を受けた私立幼稚園を除く。）に運営費及び教材費を補助しました。

*運営費補助金 1園当たり 20万円

*教材費補助金 園児（町内在住）1人当たり 1千円



◆教育総務一般事務費（学校教育課）◇

59,216千円（学校教育課）

（財源：国県支出金366千円 一般財源58,596千円 その他254千円）

*特別支援学級介助員配置事業（酒小3人、大小2人）

6,433千円

小学校の特別支援学級に在籍する児童の学習活動や学校生活の支援・補助を行うため、介助員を配置しました。

酒々井町独自

*学習指導等専門支援員配置事業（小2人、中3人）

5,459千円

特色ある教育活動を推進するための支援員を小・中学校に配置しました。

酒々井町独自

*教育アドバイザー配置事業（2人）

3,959千円

国際交流事業やALT（外国語指導助手）の活用を図るとともに、帰国子女等への日本語指導を行うアドバイザーを小・中学校に派遣しました。

酒々井町独自

*学習活動支援員（介助員）配置事業（酒小1人、中2人）4,937千円

小・中学校へ通う肢体不自由等の理由から特別に支援を要する児童生徒個人を支援するため、介助を目的とした支援員（3人）を小・中学校（2校）に配置しました。

*学習指導等専門支援員（理科専属）配置事業 1,835千円

小学校5・6年生の理科の授業を中心に観察・実験活動の充実を図るため、理科専属の支援員を2校に配置しました。



*部活動指導員配置事業 147千円

生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促すため、中学校に部活動指導員を配置し、部活動の充実を図りました。

酒々井町独自

*学校保健支援教員配置事業 1,613千円

学校保健支援員1名を配置し、養護教諭が校外学習等で不在の時になどに、各学校へ出向き保健室の対応を行いました。

また、学校集団検診等の補助、記録の入力など養護教諭を補佐しました。

*ICT授業支援教員配置事業 2,431千円

学校教育課にICT授業支援教員1名を配置し、各学校に週1日以上出向き、令和3年度から本格運用を始めた1人1台PCを活用した授業の支援を行いました。

酒々井町独自

*教育ファシリテーター配置事業 2,139千円

学校教育課に教育ファシリテーター1名を配置し、行政組織との連絡調整や地域学習等の教材開発を通じた「酒々井学(ふるさと学習)」の学習プログラムを作成・実施するとともに授業への支援を行いました。

酒々井町独自

*酒々井学推進事業 72千円

酒々井町の郷土の歴史に対して、実感をもって学習できるように、各小学校に設置した学校郷土資料館を継続的に整備し、展示内容の充実化を図りました。

また、小・中学校の地域学習・地域活動への支援を行うために、行政組織等との連絡調整や地域素材を活用した「酒々井学」の学習プログラムを実施し、児童生徒のふるさと意識の向上を図りました。

酒々井町独自

*スクールバス運行业務委託事業 13,391千円

酒々井小学校の遠距離通学の児童に対して、町ふれ愛タクシーをスクールバスとして委託し、馬橋、墨、伊篠、伊篠新田地区等の児童の交通手段を確保しました。

なお、平成29年度からは、町ふれ愛タクシー（3台）と町所有（1台）の合計4台で運行しています。

酒々井町独自

*人権・同和教育研究補助金 194千円

人権・同和教育の推進を図るため、町教育委員会が指定した小学校又は中学校の研究指定校に対し、研究活動費として補助金を交付しました。

酒々井町独自

*保小中連携事業活動補助金 296千円

小一プロブレム、中一ギャップの解消を図るため、保育園(こども園)・小学校・中学校で相互の連携を促進し、学習の継続性や接続の円滑化を図るほか、生徒指導及び学習指導についての改善を進めるため、保小・小中の連携部会に対し、補助金を交付しました。



酒々井町独自

*教職員の特色ある教育活動支援事業補助金 400千円

小・中学校の教育研究の積極的な推進を図るため、学校の教職員が提案する教育プランにおいて、児童生徒への教育効果が期待できる内容に対し補助金を交付しました。

なお、本事業は令和3年度から隔年で実施していました。

酒々井町独自

新規

*町立小・中学校修学旅行費補助金 1,300千円

令和4年度から、保護者の経済的負担の軽減を図るため、町立小・中学校が実施する修学旅行に対し、小学校は1学級当たり10万円、中学校は1学級当たり20万円の補助金を交付しました。

◆児童生徒国際交流振興事業◇

16,449千円（学校教育課）

（財源：一般財源16,398千円 その他51千円）

酒々井町独自

*英語専科教員（2人） 4,492千円

令和2年度から新学習指導要領に準拠した小学校外国語科・外国語活動が実施され、5・6年生は教科として指導するため、学習指導や学習評価を実践研究しつつ、学校職員への研修も実施しました。

*外国語指導助手（ALT：3人）11,957千円

各小・中学校に1名ずつ配置しているALT（外国語指導助手）を活用した支援を行い、ネイティブな英語にふれることを通して、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童生徒の確かな学力を育みました。さらにALTの配置により、保育園（こども課：業者委託 週1回 3～5歳児対象）で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施しました。



*国際交流派遣事業 0千円

酒々井中学校生徒をオーストラリア及びドイツへ派遣し、ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力等のコミュニケーション能力の育成を目的としている派遣事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航困難等のため令和4年度は中止としました。

*国際交流受入れ事業 0千円

隔年でドイツから生徒を受け入れる事業を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航困難等のため令和4年度事業は延期としました。

酒々井町独自

◆ふれあい教室運営事業◇

1,975千円（学校教育課）

（財源：全額一般財源）

教育委員会に適応指導教室「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を取り入れ、集団適応と学校復帰を支援しました。

酒々井町独自

◆学校図書館推進事業◇

2,428千円（学校教育課）

（財源：全額一般財源）

児童生徒の生涯にわたる読書習慣の形成と学校図書館活用能力の育成を図るため、町立図書館と学校図書館との連携を推進するとともに、学校図書館の機能の充実と児童生徒の図書館活用のための支援を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（学校教育課）◇7, 610千円（学校教育課）

（財源：国県支出金486千円 一般財源6,923千円 その他201千円）

酒々井町独自

拡充

*パワーアップE助成事業 26千円

これまで中学校3年生のみに実施していた英語検定への助成を小学校6年生にも広げ、早期からの英語力の向上を推進するため、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

コロナ対策

*修学旅行生のPCR検査委託事業 816千円

修学旅行前の児童にPCR検査を行い、陰性確認をすることで、安全安心な修学旅行を実施しました。

酒々井町独自

*酒々井小学校水泳指導委託事業 3,208千円

酒々井小学校のプールは老朽化により使用できないため、水泳指導（送迎を含む）について民間企業に業務委託しました。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 200千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。（注）CTSは、Child, Teacher, School・Societyの略。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 1,740千円

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（酒々井小）◇4,127千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*酒々井小学校教育活動の充実 2,500千円

酒々井小学校の教材備品や学校図書の実を図りました。

コロナ対策

◆学校保健特別対策事業（酒々井小）◇1,560千円（学校教育課）

（財源：全額国県支出金）

新型コロナウイルス感染症対策徹底のため、消毒液等を購入しました。

◆大室台小学校教育振興事業（学校教育課）◇ 2, 653千円（学校教育課）

（財源：一般財源 2, 517千円 その他 136千円）

酒々井町独自

拡充

*パワーアップE助成事業 64千円

これまで中学校3年生のみに実施していた英語検定への助成を小学校6年生にも広げ、早期からの英語力の向上を推進するため、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

コロナ対策

*修学旅行生のPCR検査委託事業 462千円

修学旅行前の児童にPCR検査を行い、陰性確認をすることで、安全安心な修学旅行を実施しました。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 200千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 774千円

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆大室台小学校教育振興事業（大室台小）◇ 3, 948千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*大室台小学校教育活動の充実 2, 500千円

大室台小学校の教材備品や学校図書の実を図りました。

コロナ対策

◆学校保健特別対策事業（大室台小）◇ 1, 560千円（学校教育課）

（財源：全額国県支出金）

新型コロナウイルス感染症対策徹底のため、消毒液等を購入しました。

◆中学校教育振興事業（学校教育課）◇ 7,872千円（学校教育課）

（財源：国県支出金471千円 一般財源7,200千円 その他201千円）

酒々井町独自

*パワーアップE助成事業 682千円

国際交流を推進し、国際理解教育を向上させる中で、広い視野で思考する力を養い、主体的に発信する能力を育成することを目的に町立中学校の3年生全生徒に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

酒々井町独自

*中学校部活動事業補助金 1,000千円

中学校の部活動の中で対外的な試合や大会などへの参加に要する費用等を援助するため、中学校に補助金を交付しました。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 300千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、中学校に補助金を交付しました。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 3,579千円

経済的理由により、就学困難と認められる生徒の保護者に対し就学援助を行いました。

◆中学校教育振興事業（酒々井中）◇ 4,649千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*酒々井中学校教育活動の充実 2,500千円

酒々井中学校の教材備品や学校図書の実を図りました。

コロナ対策

◆学校保健特別対策事業（酒々井中）◇ 2,079千円（学校教育課）

（財源：全額国県支出金）

新型コロナウイルス感染症対策徹底のため、消毒液等を購入しました。

◆給食センター管理事業◇

4,994千円（給食センター）

（財源：全額一般財源）

学校給食センターの運営及び施設設備の維持管理を行いました。

学校給食費を公費化し、保護者の利便性の向上や教職員の事務の負担軽減、会計の透明性や公平性の確保を図りました。

*施設設備保守点検委託料	2,908千円
*給食費収納管理システム賃借料	498千円
*トイレ手洗温水化工事	892千円

◆給食事業◇

163,075千円（給食センター）

（財源：国県支出金3,399千円 利用者負担金63,664千円 一般財源96,012千円）

学校教育における児童・生徒の心身の発達のための給食を提供しました。また、学校給食を通して子どもたちに食の理解、地域社会の環境・文化、栄養改善、健康の増進、社会性・食事のマナーを身につける等の教育を行いました。

経年劣化が著しい調理施設設備について機器の修繕や交換を行いました。

*学校給食賄材料費 （地元食材購入費 7,396千円含む。）	88,127千円
*第3子以降学校給食費免除制度	6,408千円
*学校給食調理配膳業務委託料	46,497千円
*学校給食配送業務委託料	12,899千円
*給食調理機器設備更新事業 ・調理用備品購入（テーブル、シンク）	436千円



国指定史跡 本佐倉城跡の整備

酒々井町独自

◆本佐倉城跡保存整備事業◇

11,148千円(生涯学習課)

(財源：全額一般財源)

史跡本佐倉城跡の保存・活用のための史跡整備事業を行いました。

令和4年度は城山郭民家裏の危険木の伐採を行いました。

周知・普及事業としては、国史跡本佐倉城跡案内所の運営を継続して行い、令和4年度には来場者として11,404人が訪れました。また令和4年度に実施した講演会記録集を3月下旬に刊行し、併せてパンフレットの増刷を行いました。2月25日には佐倉市と共催で城跡の見学会を実施して66名の参加がありました。さらに本庁舎入口の調査概要展示を継続して実施し、公民館ロビーの展示については3月14日から「目で見る酒々井3万年の歴史」として町の通史展示を開始しました。



国指定史跡 墨古沢遺跡の整備

酒々井町独自

◆墨古沢遺跡保存整備事業◇

24,190千円(生涯学習課)

(全額一般財源)

全国初かつ日本最大級の「環状ブロック群」として令和元年10月に国史跡指定を受けた墨古沢遺跡について保存整備事業を進めました。

令和4年度は、これまでに策定を行った『保存活用計画』『整備基本計画』を基に、今後予定する本格的史跡整備事業に向けてさらに具体的な遺構整備・施設等の設計についてまとめた『整備基本設計』(道路・駐車場等)の作成を行い、整備・活用の方法を的確に検討するため有識者による史跡墨古沢遺跡整備活用委員会を2回開催しました。また史跡の活用を推進するため史跡指定地南側の民有地2,038.28㎡の公有化を行い、完了しました。

普及事業としては、10月22日、12月17日に2回のミニ講演会を実施し、また墨古沢遺跡の常設展示をコミュニティプラザにて継続して行うほか、指定1周年記念シンポジウムの記録集の刊行を行いました。

歴史・文化の保全

酒々井町独自

◆町内埋蔵文化財調査事業◇

5,989千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金1,762千円 一般財源4,227千円）

町内の下宿粟ノ洲遺跡の範囲内で実施される個人住宅の建設に伴い、国県補助金を活用して事前の発掘調査（記録保存）を行い、遺跡の適切な保存を図りました。また経年劣化により腐食が進む町内の遺跡から出土した金属製品4点について保存処理業務を行いました。

酒々井町独自

◆まちの顔づくり推進事業◇

4,906千円（生涯学習課）

（その他4,906千円）

江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行い、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加を図りました。

令和4年度は、「相川文子家」「筋吉五郎家」「下がり松」の管理事業を実施したほか、旧酒々井宿の利活用に向けた計画の策定（2ヵ年事業の1ヵ年目）や基礎資料の作成を進めました。また淑徳大学と連携した「清光寺」の資料調査を実施しました。



酒々井町独自

◆酒々井の伝説ものづくり事業◇

858千円（生涯学習課）

（その他61千円 一般財源797千円）

昔の資産・記憶・民話等の地域の資源・宝を整理、見える化の為のデータ化等により後世へ伝承するとともに、町内外への発信を行いました。

令和4年度はしすいみんな絵本に係る検討会及びプレミアム酒々井での展示会を実施しました。



生涯学習の施策

◆社会教育一般事務費◇

2,865千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金 656千円 一般財源2,209千円）

*成人の祝い（20歳）

式典・成人者主催による「新成人のつどい」を開催します。

*家庭教育

家庭教育の充実を図るため、家庭教育指導員による家庭教育相談や小学校就学前の保護者、小・中学校の保護者を対象にそれぞれの家庭教育学級を開設しました。

・ローズマリー学級・酒々井小学校家庭教育学級・大室台小学校家庭教育学級・酒々井中学校家庭教育学級

全ての保護者が安心して子育てを行える体制を構築するため、教育委員会と福祉部局が連携して、家庭教育支援チームを設置しました。

*人権教育

人権教育を推進するため、人権教育セミナーを開催して人権意識の向上に努めました。

人権教育セミナー（年間6回開催）

酒々井町独自

◆学校教育支援促進事業◇

2,001千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金1,292千円 一般財源709千円）

*地域学校協働本部

町立各小・中学校に学校と地域ボランティアの調整役であるコーディネーターを配置するとともに、地域ボランティアとコーディネーターの活動拠点である地域ルームを設置し、学校と地域の連携・協働を推進しました。

*地域未来塾

中学生に対して元教員などの地域住民の協力を得て学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、学習支援を行いました。（年32回実施）



酒々井町独自

◆土曜日の教育支援体制等構築事業◇

1,535千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金441千円 一般財源1,094千円）

*こども青樹堂（3・4年生、5・6年生）

子どもたちの豊かな人間形成を育むことと確かな学力の定着を目的として、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場を開設しました。

*酒々井小学校・大室台小学校児童を対象とした補習と講座…年15回開催

◆青少年健全育成事業◇

1,485千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金65千円 一般財源1,420千円）

青少年健全育成を図るため、青少年相談員事業として各種事業を子ども会育成会連絡協議会と共催で開催します。

- *子ども会対象事業：体験教室・映画会・町ウォークラリー大会参加
・町スポレク祭参加
- *青少年相談員事業：防犯パトロール・釣り大会
・伝統文化教室（たこ作り教室・たこあげ大会）
・星空の映写会・星空の観察会



※綱引き大会（スポレク祭）とオールナイトハイクは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になりました。

◆青少年交流事業◇

0千円（生涯学習課）

（財源：一般財源0千円 その他0千円）

- *北海道陸別町児童交流事業：新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止しました。
- *群馬県長野原町児童交流事業：新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止しました。
群馬県長野原児童交流事業は令和4年度で廃止になりました。

酒々井町独自

◆公民館活動事業◇

5,612千円（中央公民館）

（財源：一般財源5,598千円 その他14千円）

酒々井町青樹堂（公民館主催事業）として各種講座の開催やイベントを行います。詳しくは、「公民館だより」や広報ニューしすい、酒々井町公式LINEでご案内しました。

【酒々井町青樹堂】

- *しすい青樹堂（2年制）
- *しすい青樹堂一般公開講座
- *短期講座（趣味・教養、健康づくりなど）
- *町民文化祭



◆公民館管理事業 維持管理◇

23,920千円（中央公民館）

（財源：国県支出金5,801千円 一般財源17,005千円 その他1,114千円）

中央公民館の維持・運営をするための経常的経費です。

- | | |
|---|---------|
| *光熱水費（電気・ガス・水道） | 3,387千円 |
| *設備の保守管理委託等
（清掃・消防・冷暖房・エレベーター・自動ドア・警備） | 7,299千円 |
| *窓口職員報酬・共済費 | 6,869千円 |
| *その他
（電話代・修繕料・コピー代・消耗品代、燃料費、備品、工事） | 6,365千円 |

酒々井の町づくり

◆プレミアム管理事業◇

30,691千円(プレミアム酒々井)

(財源：国県支出金1,408千円 一般財源24,309千円 その他4,974千円)

プレミアム酒々井の維持・修繕をするための経常的経費です。

*光熱水費(電気・ガス・上下水道)	13,899千円
*施設維持管理費(保守・点検等)	12,383千円
*修繕工事費(消防設備誘導灯器具及びバッテリー交換等)	1,484千円
(空調配管廻り計器交換修繕)	1,518千円
*施設用備品(舞台照明操作卓)	1,705千円

コロナ対策

*備品修繕(エントランスホール椅子布地張替等)	1,207千円
*感染症対策消耗品	201千円

◆プレミアム運営事業◇

22,129千円(プレミアム酒々井)

(財源：国県支出金1,005千円 一般財源21,124千円)

プレミアム酒々井は、文化芸術をはじめとする生涯学習の向上及び推進を図るための文化ホールと図書館を併設した文化施設であり、町民の生涯学習の場、交流の場としての情報発信施設となるように運営を行いました。

*会計年度任用職員報酬・共済費等	8,996千円
*自主事業費(図書館講演会・リッチハートコンサート・オータムコンサート)	365千円
*図書館情報システム	2,964千円

図書館情報システムの安定稼働の確保と、円滑な図書館業務の推進を図り、住民サービスの向上に努めました。

*図書館資料等購入費	6,332千円
------------	---------

町民の読書や多様な学習要求に応えるため、図書やCD・DVD、新聞・雑誌など、蔵書の充実を図りました。また、電子書籍サービスの導入により、利便性の向上を図りました。

図書館(蔵書数 87,241冊)			
個人貸出冊数	1日平均貸出冊数	町民1人当たり貸出冊数	開館日数
79,914冊	281冊	4.0冊	284日
登録者数	町民登録率	読書通帳配付数	電子書籍サービス
6,086人	27.0% (町外登録者641人を除く)	152冊 (延べ1,791冊)	利用者数
			利用冊数
			309人
			966冊

※町人口(令和5年4月1日現在) 20,163人

コロナ対策

*オータムコンサートにかかるPCR検査委託業務	1,005千円
-------------------------	---------

オータムコンサート出演児童・生徒にPCR検査を行い、陰性確認をすることで、安全・安心なオータムコンサートを実施しました。

◆保健体育活動事業◇

7,146千円(生涯学習課)

(財源：全額一般財源)

生涯スポーツを推進するため、各種スポーツ教室・大会や、軽スポーツの体験の場を提供しました。
また、順天堂大学と連携しながら公開講座など各種事業を実施しました。

1 各種大会

大会名	回数	実施時期
野球大会	年2回	4月・9月
卓球大会	年2回	11月(5月開催は中止)
ウォークラリー大会	年1回	5月
バレーボール大会	年1回	6月
インディアカ大会	年1回	中止
印旛郡市民スポーツ大会	年1回	7月
ソフトテニス大会	年1回	8月
ソフトボール大会	年1回	9月
町長杯少年野球大会	年1回	9月
町スポーツ・レクリエーション祭	年1回	10月
テニス大会	年1回	10月
バドミントン大会	年1回	11月
空手道大会	年1回	中止
ゴルフ大会	年1回	11月
印旛駅伝競走大会	年1回	12月
町駅伝競走大会	年1回	1月
町長杯少年サッカー大会	年1回	3月

2 各種教室

教室名	実施時期	対象者
オリ・パラ関連事業 トップアスリートによる講演	6月	中学生他
剣道教室	通年	小学生以上
柔道教室	通年	小学生以上
空手道教室	通年	小学生以上
サッカー教室	通年	小学生以上
テニス教室	5月・9月	20歳以上
カヌー教室	6月	小学4～6年
水泳教室	7月	小学1～6年
ライトスポーツクラブ	通年	小学生以上
順天堂大学公開講座(親子スポーツ教室)	10月	小学生親子
順天堂大学連携「おとな」もスポーツテスト	11月	成人・高齢者
順天堂大学連携陸上競技教室	3月	小中学生

防 災

コロナ対策

◆防災一般事務費◇

18,548千円(総務課)

(財源：国県支出金13,795千円 一般財源4,753千円)

新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営や防災体制の確立のため防災訓練の実施及び必要な資機材、備蓄品を整備したほか、町民及び自主防災組織に対する自助・共助の推進を図るため、ぼうさい出前講座を実施しました。

千葉県において、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、新たに指定された土砂災害警戒区域等を反映した土砂災害ハザードマップの作成を行いました。

◆防災行政無線管理整備事業◇

6,985千円(総務課)

(財源：全額一般財源)

防災行政無線設備の正常な機能を維持するとともに、故障等の発生を未然に防止することを目的に保守点検業務を行いました。

消 防

◆佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金◇

476,038千円(総務課)

(財源：全額一般財源)

消防組合の運営に係る負担金です。

(構成市町：佐倉市、八街市、酒々井町)



◆消防団事業◇

12,800千円(総務課)

(財源：全額一般財源)

地域の安全確保に大きな役割を果たしている消防団については、消防団員の消防技術の向上を図るための各種訓練の実施及び火災発生時に備え、機械器具一斉点検を実施しました。

また、災害の多発化、激甚化に備え、消防団員の確保に向けた取り組みとして、報酬等の見直しを行いました。

◆消防施設事業◇

21,770千円(総務課)

(財源：国県支出金1,183千円 地方債18,000千円 一般財源2,587千円)

消防団装備品や消防機庫、消防車、防火水利等の維持管理を行うとともに、老朽化した小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプそれぞれ2台を更新しました。

交通安全、防犯の施策

◆交通安全対策事業◇

4,903千円(まちづくり課)

(財源：全額一般財源)

道路標識、ガードレール、カーブミラー、区画線などの交通安全施設の整備及び維持管理を行いました。

◆防犯街灯事業◇

25,916千円(まちづくり課)

(財源：全額一般財源)

町管理及び自治会等管理の防犯街灯の整備及び維持管理を行いました。

*自治会管理防犯街灯補助

電気料補助 当該年度4月分電気料×12か月×70%

修理費補助 修理費×50%

新規設置等補助 工事費×50% (上限：共架25,000円・小柱40,000円)

◆防犯事業◇

3,077千円(総務課)

(財源：全額一般財源)

自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロール等の活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行うとともに、安全で安心なまちづくりの推進を図るため、犯罪抑止対策を目的として、防犯啓発活動を実施しました。

◆防犯ボックス事業◇

9,828千円(総務課)

(財源：一般財源9,795千円 その他33千円)

警察官OBを配置した防犯ボックスを運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視活動等を実施し、地域防犯力の向上と女性や子どもをはじめ、住民が安心して暮らせる地域づくりの推進を図りました。

環境、ごみ、リサイクル、不法投棄、地球温暖化対策

◆環境衛生対策事業◇

22,015千円(経済環境課)

(財源：国県支出金254千円 一般財源21,309千円 その他452千円)

- ・畜犬管理システムで飼い犬の登録や管理、狂犬病予防注射の啓発を行いました。
- ・飼い主のいない猫の避妊・去勢手術を実施した団体に補助金の交付等を行いました。
- ・佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合の管理運営に係る経費を負担しました。

◆環境保全対策事業◇

746千円(経済環境課)

(財源：一般財源726千円 その他20千円)

- ・町の環境に関する事項について酒々井町環境審議会を開催して、調査審議を行いました。
- ・河川水質検査等の環境調査を行いました。
- ・あき地に繁茂している雑草等の除去指導を行いました。
- ・印旛沼水質保全協議会等の運営に係る経費を負担しました。

◆地球温暖化対策推進事業◇

9,230千円(経済環境課)

(財源：国県支出金1,310千円 一般財源7,920千円)

- ・家庭における地球温暖化対策促進のため、住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、定置用リチウムイオン蓄電池システムを設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・電気自動車及びV2Hシステムを購入、設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・令和3年度に策定した「酒々井町2050年脱炭素実現のための再生可能エネルギー導入目標」の脱炭素シナリオの実現に向けた「酒々井町地球温暖化対策実行計画」の策定を行いました。

◆清掃一般事務費◇

1,664千円(経済環境課)

(財源：国県支出金120千円 一般財源1,544千円)

- ・町不法投棄監視員による廃棄物及び残土の不法投棄の監視を行うとともに、毎月1回の一斉パトロールを実施し、不法投棄の処理を行いました。また、監視活動の強化及び広報による管理意識の啓発等を行い、不法投棄の未然防止に努めました。
- ・5月にゴミゼロ運動を実施しました。
- ・ごみ分別促進アプリ「さんあーる」の運用・更新を行いました。



◆じん芥処理事業◇

176,619千円（経済環境課）

（財源：一般財源174,871千円 その他1,748千円）

- ・一般家庭から排出される廃棄物の収集運搬を行いました。
- ・リサイクルを推進するため、資源回収を行う団体等に対し報償金、また、事業者に対し奨励金の交付を行いました。
- ・ごみ減量化を推進するため、ペットボトルの拠点回収等を行いました。
- ・生ごみ減量化を図るため、自家処理堆肥化容器（コンポスト）及び機械式生ごみ処理機を購入し設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・佐倉市、酒々井町清掃組合の管理運営及び建設等に係る経費を負担しました。



◆し尿処理事業◇

14,873千円（経済環境課）

（財源：国県支出金416千円 一般財源14,457千円）

- ・印旛沼の水質浄化を目的に単独浄化槽の転換を推進するため、補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等を設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・印旛衛生施設管理組合の管理運営等に係る経費を負担しました。
（構成市町:佐倉市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町）

まちづくり施策

◆都市計画マスタープラン・立地適正化計画見直し事業◇

2,236千円(まちづくり課)

(財源：全額一般財源)

第6次酒々井町総合計画等の上位計画を踏まえ、町の将来都市像及び土地利用を明らかにするとともに、地域ごとのまちづくり方針を定め、既定の都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直しを令和4年度から令和5年度にかけて行っています。

◆住宅耐震事業◇

160千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金52千円 一般財源108千円)

- ・木造住宅耐震診断費補助、耐震改修費補助、耐震シェルター等整備費補助
昭和56年5月31日以前に建築・着工された木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、木造戸建て住宅の耐震診断に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。
- ・家具転倒防止器具購入補助
地震による家具の転倒等の被害から住民の身体の安全を確保するため、家具転倒防止器具等の購入又は取り付け費用に対し、補助金を交付しました。

◆住宅リフォーム補助事業◇

2,624千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金1,140千円 一般財源1,484千円)

町民の生活環境の向上及び町内産業の活性化・雇用の創出を目的とし、住宅のリフォーム工事に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。

◆建築指導事業◇

2,066千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金840千円 一般財源1,226千円)

- ・狭あい道路拡幅整備
幅員4メートル未満の町道に接する土地の所有者から後退用地を町に寄付していただき、測量、登記及び拡幅整備を行いました。

町道の整備

◆社会資本整備総合交付金事業(道改) 6,075千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金1,589千円 地方債1,400千円 一般財源3,086千円)
町道02-012号線(尾上・飯積地先)について、道路改良を実施するため、用地購入を行いました。



町道の維持管理

◆社会資本整備総合交付金事業(道維) 76,123千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金31,410千円 地方債19,800千円 一般財源24,913千円)
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、町が管理する橋梁の補修工事及び補修に伴う設計業務、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行いました。

◆道路維持事業◇ 95,961千円(まちづくり課)

(財源：地方債35,200千円 一般財源45,630千円 その他15,131千円)
道路交通の安全性及び快適性を確保するため、舗装補修、側溝清掃、除草等、町道の維持管理を行いました。

◆駐輪場事業◇ 16,985千円(まちづくり課)

(財源：一般財源6,533千円 その他10,452千円)
京成酒々井駅東口及びJR酒々井駅西口、東口の自転車等駐車場の管理を行いました。



公園の維持管理

◆総合公園管理事業◆

17,980千円（まちづくり課）

（財源：一般財源15,600千円 その他2,380千円）

総合公園の植栽及び施設の維持管理を行いました。

◆街区公園管理事業◆

21,532千円（まちづくり課）

（財源：全額一般財源）

街区公園の植栽及び施設の維持管理を行いました。



目標6 活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり

農業振興

◆農業振興管理事業◇

12,321千円(経済環境課)

(財源：国県支出金5,124千円 一般財源7,194千円 その他3千円)

農産物の生産振興のため、植物防疫協会などの団体に対し補助金等の交付を行いました。

コロナ対策

新規

酒々井町独自

*肥料等物価高騰対策農業者助成金(3,619千円)

・原油価格・肥料等物価の高騰により深刻な影響を受けている農業者に対し助成金を支給しました。

◆農業基盤整備事業◇

7,228千円(経済環境課)

(財源：国県支出金782千円 一般財源6,424千円 その他22千円)

農業・農村の有する水源の涵養・自然環境の保全等の多面的機能の発揮のため、農用地・水路・農道等の地域資源の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金を交付しました。

◆生産調整推進対策事業◇

5,719千円(経済環境課)

(財源：国県支出金1,359千円 一般財源4,360千円)

生産調整協力者に奨励補助金の交付及び経営所得安定対策の推進のため地域農業再生協議会へ補助金の交付を行いました。

◆地域向上対策事業◇

1,011千円(経済環境課)

(財源：一般財源828千円 その他183千円)

地域住民の生活の充実、文化の向上及び社会活動を推進するため、農産物加工等を行える生涯生活センターの管理運営を行いました。

◆林業管理事業◇

3,312千円(経済環境課)

(財源：一般財源3,312千円)

森林整備等に必要なる財源に充てるため令和元年度に創設され、国から町に譲与される森林環境譲与税を、将来の活用に備えて基金に積み立てました。



商業・工業の振興施策

◆商工一般事務費◇

4, 179千円（経済環境課）

（財源：全額一般財源）

- ・安全な消費生活のために、悪質商法、契約に係るトラブルなどに関する相談について、毎週火曜日、消費生活者相談員による相談受付を行いました。
- ・まちづくりへの積極的な参画など商工業の振興を図る事業を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。
- ・マイナンバーカードの普及やキャッシュレス決済の拡大を図りつつ、個人消費を切れ目無く下支えするため、マイナポイント付与の支援を行いました。

*消費生活相談費	341千円
*町商工会事業補助金	3,800千円



◆商工業振興費◇

9, 442千円（経済環境課）

（財源：国県支出金4, 992千円 一般財源1, 450千円 その他3, 000千円）

- ・小規模事業者育成などの振興を図る事業を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。
- ・企業が経営上必要とする事業資金の調達を円滑にするために資金の融資及び利子補給を行い企業の振興を図りました。
- ・酒々井町企業立地促進条例及び「酒々井町企業立地のご案内」を活用し、優良企業の立地を促進しました。

コロナ対策

新規

酒々井町独自

*酒々井町原油価格高騰対策助成金（4, 562千円）

- ・長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、原油価格高騰により深刻な影響を受けている中小企業などに対し、事業の継続を支援するための助成金を支給しました。

◆観光事業◇

3,731千円（経済環境課）

（財源：国県支出金528千円 一般財源3,162千円 その他41千円）

- ・町の特産品をJR酒々井駅のケースディスプレイに展示しました。
- ・JR酒々井駅西口、しすい・ハーブガーデン、まるごとしすいに導入した観光客向けの公衆無線WI-FIの維持管理を行いました。
- ・JR酒々井駅及び京成酒々井駅に設置の観光案内板の更新及びしすい・ハーブガーデン・まるごとしすい等へ観光誘導看板を新たに設置しました。

◆コミュニケーションセンター事業◇

6,786千円（経済環境課）

（財源：全額一般財源）

酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」において、訪れる方に町の観光物産等に関する情報を広く提供することにより、町のイメージアップと誘客を図りました。

◆コミュニティプラザ運営事業◇

18,816千円（経済環境課）

（財源：国県支出金997千円 一般財源12,903千円 その他4,916千円）

- ・コミュニティプラザには、大広間、浴室、多目的ホール等があり、健康増進や憩いの場として町民に利用されています。（予約申込は1か月前から電話予約可能）

【コミュニティプラザ】

利用時間：9：00～21：00（浴室11：00～8：00）

休館日：年末年始（施設等点検のため臨時休館あり）

利用料：大広間 1時間当たり 600円（夜間900円）

会議室 1時間当たり 200円（夜間300円）

浴室 1人当たり 100円（夜間150円）

多目的ホール 全面利用 1時間当たり 1,000円（夜間1,500円）

半面利用 1時間当たり 500円（夜間 750円）

※夜間料金は、午後5時から利用の場合です。

※町外の方は、料金が異なります。

- ・イベント時等に酒々井リサイクル文化センターの駐車場を利用するため、コミュニティプラザ駐車場から道接往来できるよう、スロープの整備を行いました。

- ・台風等・自然災害発生時に倒木による電線の断線を予防するため、敷地内のクスノキ及びサクラの剪定を行いました。

コロナ対策

新規

*酒々井コミュニティプラザ2階男女トイレ改修工事（997千円）

- ・施設利用者等への新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、和式を洋式トイレに改修し、快適な施設運営の維持を図りました。

◆ハーブガーデン運営事業◇

3,394千円（経済環境課）

（財源：全額一般財源）

酒々井コミュニティプラザに隣接する酒々井ハーブガーデンの運営を行い、「ハーブのまち酒々井」のPRとあわせ、憩いの場の提供や、観光施設としての魅力向上に取り組みました。



◆まるごとしすい運営事業◇

11,190千円（経済環境課）

（財源：一般財源10,841千円 その他349千円）

「まるごとしすい」において、定期的なイベント等の開催により、アウトレット利用者呼び込み、特産品等のマーケティング、中小企業・小規模事業者への新たな特産品等の開発や販路の確立等の相談支援に取り組みました。

併せて、酒々井プレミアム・アウトレットの集客効果を活かすため、町の観光物産等を展示紹介する情報発信コーナーを設置し、町のイメージアップと街中への誘客を図りました。

【まるごとしすい】

営業時間：9：00～18：00

休館日：毎週月曜日及び年末年始 ※月曜日が祝日の場合は翌平日

利用料：

施設等	使用単位		使用料	
多目的ホール	1時間につき		町内	200円
			町外	500円
展示棚	1月につき	1区画	町内	1,000円
			町外	2,000円
レンタサイクル	1台につき		電動アシスト式自転車	500円
			自転車	300円
まるごとしすい	1日		町内	1,000円
			町外	2,000円

目標7 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

町民参加・協働施策

◆住民公益活動補助事業◇

330千円(住民協働課)

(財源：一般財源325千円 その他5千円)

住民が行う自由で自発的な公益活動を支援し、住民参加による地域社会の発展及び協働のまちづくりの推進に資することを目的とした事業等について補助金の交付を行いました。

◆公園等愛護活動推進事業◇

2,351千円(住民協働課)

(財源：全額一般財源)

町が管理する都市公園等について地域住民が主体となって実施する環境美化活動及び施設の保全維持管理活動を支援しました。

また、花植を行う団体に、年2回以内で花苗を支給する「花いっぱい運動」を行いました。



◆資材等支給事業◇

351千円(住民協働課)

(財源：全額一般財源)

地域住民等が自ら施工する生活環境の整備工事等について、住み良い住環境整備の推進及び地域住民等の連携を図るため、必要な資材等の支給を行いました。

◆地理情報システム整備事業◇

7,352千円(住民協働課)

(財源：全額一般財源)

町と住民等の行政情報及び地域情報を共有できるGIS(地理情報システム)を活用した住民の安全安心のまちづくりを推進しました。

◆地域活動拠点施設運営事業◇

206千円(住民協働課)

(財源：一般財源204千円 その他2千円)

住民によるまちづくりを推進するため、下宿ベース(地域活動拠点施設)の管理運営を行い、誰もが活動に参加しやすい拠点づくりを図りました。

◆公共活動広場用地管理事業◇

1,389千円（住民協働課）

（財源：全額一般財源）

住民が利用できる広場として整備予定の土地の維持管理を行いました。

コミュニティ施策

◆地区集会所等補助事業◇

870千円（住民協働課）

（財源：全額一般財源）

地域住民の自治活動の場としての集会所等の維持・管理等に要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動を推進しました。

◆自治振興事業◇

6,994千円（住民協働課）

（財源：全額一般財源）

区・自治会など住民自治の振興を図るとともに、行政の円滑な運営と町民福祉の増進を図るために助成金を交付しました。

人権推進事業

◆人権推進一般事務費◇

10,000千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金4,964千円 一般財源5,036千円）

様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、啓発活動を行いました。

人権教育の一環として、小・中学生を対象とした人権教室の実施、町内の小学生が描いた人権啓発ポスターの展示を行いました。

人権週間（12月4日から10日まで）では、人権をテーマとした講演会、広報車による巡回啓発を行いました。

*子ども家庭総合支援拠点事業委託業務（6,738千円）

すべての子どもとその家庭等からの福祉に関する相談に応じ、関係機関と連携して、必要な支援を継続的に行うため「子ども家庭支援員」を1名配置し、令和4年度より、2名を子ども家庭支援員（会計年度職員）として配置しました。

また、あらゆる家庭問題に対し、充実した必要な支援を行いました。

◆隣保館運営事業◇

9,453千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金6,700千円 一般財源2,199千円 その他554千円）

地域社会全体の福祉向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活相談や人権課題解決のため各種事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策により隣保館まつりを中止しました。

【基本事業】

- * 相談事業：就労に関する情報提供、生活相談（随時）
- * 啓発事業：人権ふれあい講座（6月30日・12月8日）
- * 地域交流事業：高齢者音楽健康教室（22回）、フラワーアレンジメント教室（11回）、新型コロナウイルス感染症対策により親子ふれあい教室・料理教室を中止しました。

【自主サークル活動】

- * 鎌倉彫（18回）・あみもの（20回）

企画一般施策

◆企画一般事務費◇

37,964千円（企画財政課）

（財源：国県支出金1,000千円 一般財源9,772千円 その他27,192千円）
町マスコットキャラクター等を積極的に活用し、酒々井町の施策や魅力等を町内外に広く情報発信するシティプロモーション活動を推進し、交流・関係人口増加や定住促進を図りました。



*印旛郡市広域市町村圏事務組合の管理運営等に係る負担金（7,238千円）

構成市町：成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、栄町、酒々井町

コロナ対策

酒々井町独自

*公共交通事業者緊急支援金（1,000千円）

町民の移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業に大きな影響を受けつつ、従業員及び利用者の感染防止に努めて運行を継続しているバス事業者、タクシー事業者及び鉄道事業者に対して補助金を支給しました。

◆印旛広域水道事業◇

3,159千円（企画財政課）

（財源：地方債2,800千円 一般財源359千円）
印旛郡市広域市町村圏事務組合が構成市町への水道用水の安定供給、効率的な事業運営を行うための経費に係る負担金及び出資金として支出しました。

*出資金：3,063千円

*負担金：96千円

◆広報広聴事業◇

4,343千円（企画財政課）

（財源：一般財源3,783千円 その他560千円）
町民がまちづくりに自主的に参加しやすいものとなるよう、行政情報の積極的な提供を通じて、町民と町との情報の共有と相互理解を深め、町民参加のまちづくりを進めるため、正確かつタイムリーな行政情報や町民参加の各種イベントなどを掲載した「広報ニューしすい」を毎月1回発行しました。

議会からのお知らせ

◆議会運営事業◇

8,411千円（議会事務局）

（財源：国県支出金1,714千円 一般財源6,697千円）

より開かれた議会を実現するため、議会だよりの内容を充実させるとともに、正確な記録の管理、正確な情報伝達を図り、インターネット上に会議録や本会議の中継動画を公開することにより、議会を傍聴できない方にも配慮した情報公開に努めました。また、議場の新型コロナウイルス感染症対策を実施しました。

*議会だよりの作成事業（1,325千円）

町民に議会活動を周知（年4回）

*会議録作成事業（1,032千円）

議会定例会・臨時会ごとに会議録を作成し、ホームページで公開

*議会中継事業（1,426千円）

インターネットによる議会中継を配信

*議場設備整備事業（2,914千円）

議場放送設備等リース・保守



コロナ対策

*議場感染症対策環境整備事業（1,714千円）

議場レイアウト変更、アクリル板設置

情報の管理

◆情報化推進事業◇

46,594千円（総務課）

（財源：一般財源44,440千円 その他2,154千円）

高度情報化社会に対応した効率的な行政と住民サービスの向上を図るため、必要なハードウェアやソフトウェアの運用及び維持管理を行いました。また、自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進のため、子育て及び介護に関する26の行政手続きをマイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続きを行えるようにシステムの構築を行いました。

庁舎管理事業

◆庁舎管理事業◇

30,478千円（企画財政課）

（財源：一般財源30,138千円 その他340千円）

役場庁舎の機能の維持を図るため、高圧受変電設備及び空調設備等の改修を行いました。また、役場庁舎及び付帯施設の機能の維持及び執務環境の確保等を図るため、保守点検及び清掃等、庁舎の維持管理を行いました。

税の確保

◆賦課徴収事業◇

64,950千円（税務住民課）

（財源：国県支出金37,404千円 一般財源20,259千円 その他7,287千円）
町税は、町民の皆様の幸せ、住みよいまちづくりのための財源として重要な役割を果たしています。そのため賦課徴収事業では課税客体調査業務や各種電算業務委託等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行い、令和4年度の町税収入は2,964,658千円となりました。

戸籍・住民基本台帳事業

◆戸籍住民基本台帳一般事務費◇

51,379千円（税務住民課）

（財源：国県支出金11,221千円 一般財源30,851千円 その他9,307千円）
親族的身分関係を登録・公証する「戸籍」の適正な処理と、住民の居住関係の公証や各種行政サービスの基礎となる「住民基本台帳」の正確な管理を行いました。

また、国が推進するマイナンバーカードの交付・更新事務と県民の利便性に配慮した旅券事務を適切に処理しました。

*戸籍届出件数	818件
*転入届件数	1,524件
*転出届件数	1,478件
*証明書発行件数	
戸籍	4,226件
住民票	11,099件
印鑑証明書	5,204件
*パスポート交付数	213件



人事管理

◆総務一般事務費◇

22,262千円（総務課）

（財源：一般財源20,510千円 その他1,752千円）
人事管理や職員の健康管理を図るため、人事給与システム委託や職員の定期健康診断を行ったほか、自治功労者表彰などを行いました。

なお、職員の能力開発や資質向上を図り、住民ニーズや時代の変化に対応できる職員の育成を行うため、下記の研修などに参加しました。

- *市町村アカデミー研修
- *千葉県自治研修センター研修
- *印旛郡市市町村職員研修（印旛郡市広域市町村圏事務組合主催）等



酒々井の町づくり

【国民健康保険特別会計】

◆国民健康保険特別会計◇ 2,081,344千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金1,488,411千円 保険税395,013千円 一般財源109,939千円
その他87,981千円）

※被保険者数 4,256人（年度末）

※保険給付費 1,454,244千円 78,432件

① 療養給付費 1,262,705千円 73,125件

（入院933件、外来37,401件、歯科9,475件、調剤25,137件、訪問看護179件）

② 療養費 7,085千円 1,383件

（補装具、柔道整復師、アンマ・マッサージ、針・灸など）

③ 高額療養費 177,825千円 3,859件

④ 高額介護合算療養費 369千円 11件

⑤ 出産育児一時金 4,200千円 10件

⑥ 葬祭費 1,700千円 34件

⑦ 傷病手当金 360千円 10件

相互扶助の精神に基づき、加入者が保険税を公平に拠出することにより、主に病気、けが、出産及び死亡による経済的な損失を補うための保険給付を行いました。

※保健事業 34,742千円

被保険者の健康増進並びに医療費の適正化を図るため、糖尿病などの生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドロームの該当者などを減少させるため、特定健康診査及び特定保健指導を実施しました。また、早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の7割を助成しました。

⑧ 特定健康診査・特定保健指導 13,079千円 983人受診

（動機づけ支援69人、積極的支援16人）

⑨ 人間ドック費用の助成 15,676千円 398人利用

【後期高齢者医療特別会計】

◆後期高齢者医療特別会計◇ 351,960円（健康福祉課）

（財源：国県支出45,494千円 一般財源4,192千円 保険料302,274千円）
75歳（一定の障害のある方は65歳）以上を対象とした後期高齢者医療制度について、千葉県後期高齢者医療広域連合（注1）と連携を図り、被保険者からの各種届出等の窓口業務及び保険料の徴収を適切に行いました。

※被保険者数 3,723人（年度末）

※総務費 3,045千円

※後期高齢者医療広域連合納付金 348,293千円

【介護保険特別会計】

◆介護保険特別会計◇

1, 423, 782千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金460, 845千円、保険料313, 051千円、一般財源191, 729千円
その他458, 157千円）

※要介護認定事業（11, 380千円）

要支援・要介護認定申請者に対して、訪問調査及び介護認定審査会で要介護度判定を行いました。

*審査会 24回

*認定件数 延べ 869件

*認定状況

・非該当	6件	・要介護1	207件
・要支援1	88件	・要介護2	132件
・要支援2	115件	・要介護3	107件
		・要介護4	109件
		・要介護5	105件



*基本チェックリストによる判定 25人

※介護サービス等給付事業（1, 292, 831千円）

要支援・要介護認定者 1, 032人（令和5年3月末現在）に対し、保険給付を行いました。

*施設サービス 505, 890千円 *高額介護（予防）サービス 27, 880千円

*居宅サービス 724, 489千円 *特定入所者介護（予防）サービス 28, 909千円

*審査支払手数料 1, 040千円 *高額医療合算介護（予防）サービス 4, 623千円

※介護予防事業（1, 813千円）

・一般介護予防教室等（752千円）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら教室を開催しました。

開催教室：15講座 実施回数：48回 参加者（延べ）：479人

・介護ボランティア事業（1, 061千円）

65歳以上の方が介護保険施設でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進を図りました。

登録者数：41人

※地域包括支援センター運営事業（26, 086千円）

地域包括支援センターを設置し、高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療等の向上、生活の安定等のため、相談事業等の必要な支援を行いました。

*介護予防ケアマネジメント業務 26件

*権利擁護業務 58件

*総合相談業務 1, 344件

*ケアマネジメント支援業務 45件



【水道事業】

◆水道事業◇

652,305千円(上下水道課)

(財源：水道事業収益546,659千円、企業債37,400千円、分担金等9,499千円、
内部留保資金等58,747千円)

水道事業は、地方公営企業法に基づき、水道施設を使った人から使った程度に応じて水道料金を負担していただく「受益者負担の原則」により、独立採算制で経営されています。

皆様のご家庭まで水を送り届ける営業活動の経費は、主に水道料金でまかなわれ、配水管の布設などに要する経費は、分担金等でまかなわれます。前者を収益的収支、後者を資本的収支として経理上区分しています。

【概要】

・給水件数	9,428件
・年間総給水量	2,222,281 ³ m
・一日平均給水量	6,088 ³ m

【収益的収支】

・水道事業収益	546,659千円
水道料金	472,097千円
加入負担金	26,656千円
その他	47,906千円
・水道事業費用	448,067千円
営業費用	420,992千円

(料金徴収業務、浄水場運転管理業務、法定水質検査、量水器交換業務、動力費等)

企業債利息	6,745千円
その他	20,330千円

【資本的収支】

・資本的収入	47,099千円
企業債	37,400千円
分担金	9,499千円
その他	200千円
・資本的支出	204,238千円
建設改良費	109,995千円

飯積地先下水道管布設に伴う配水管布設替工事(2工区)

令和4年度東酒々井地先舗装本復旧工事他

企業債償還金	94,243千円
--------	----------

《詳しくは、上下水道課 電話 496-7725》

◆下水道事業◇

645,326千円(上下水道課)

(財源：下水道事業収益399,464千円、企業債36,000千円、一般会計出資金16,405千円、国庫補助金16,405千円、留保資金等173,873千円)

下水道事業は安定した下水道サービスを提供し、効率的で安定的な事業運営を行うため、企業会計方式を導入しています。

皆様のご家庭からの汚水を終末処理場へ排水する営業活動の経費は、主に下水道料金でまかなわれ、排水管の布設などに関する経費は、企業債や補助金でまかなわれます。前者を収益的収支、後者を資本的収支として経理上区分しております。

【業務予定量】

・接 続 戸 数	8,806戸
・年間総排水量	2,711,665 ^m
・一日平均排水量	7,429 ^m

【収益的収支】

・下水道事業収益	399,464千円
下水道使用料	279,317千円
その他	120,147千円
・下水道事業費用	446,720千円
営業費用	428,201千円

(污水管清掃業務、ポンプ場及びマンホールポンプ維持管理業務、流域下水道維持管理費、料金徴収業務等)

企業債等利息	9,467千円
その他	9,052千円

【資本的収支】

・資本的収入	71,989千円
企業債	36,000千円
出資金	16,405千円
補助金	16,405千円
その他	3,179千円
・資本的支出	198,606千円
建設改良費	139,345千円

 馬橋地区下水道整備事業、本佐倉地区下水道整備事業、飯積地区下水道整備事業他
 企業債償還金 59,261千円

《詳しくは、上下水道課 電話 496-7725》



目標別事業費比較



(令和4年度掲載事業に係る事業費比較)

単位：千円

目	標	令和4年度	令和3年度	比較
1	健康・福祉・子育て 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり	2,028,245	2,200,806	△172,561
2	教育・文化 人権と学ぶが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり	429,057	431,800	△2,743
3	生活・安全 豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり	579,865	552,501	27,364
4	環境共生 自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり	225,147	226,780	△1,633
5	都市基盤 便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり	242,781	405,571	△162,790
6	産業・経済 活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり	87,129	74,008	13,121
7	地域社会と行財政 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり	309,852	461,498	△151,646

